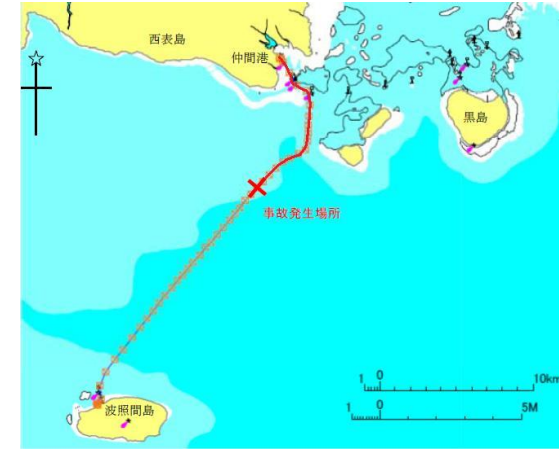


旅客船第三あんえい号旅客負傷事故及び旅客船第三十八あんえい号旅客負傷事故に係る勧告に基づき講じた措置について(完了報告)

【旅客船第三あんえい号旅客負傷事故の概要】(H24. 6. 24発生)

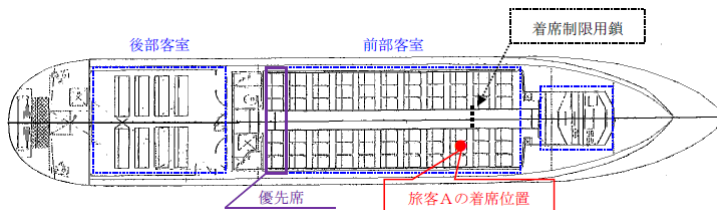
本船は、旅客56人を乗せ、沖縄県竹富町西表島仲間港から竹富町波照間漁港に向けて航行中、仲間港南方沖において、前部客室前方にシートベルトを着用せずに着席していた旅客1人が、船体が上下に動揺した際、座席から身体が浮いて臀部から座席に落下した衝撃で腰椎を圧迫骨折した。



航行経路図

【旅客船第三十八あんえい号旅客負傷事故の概要】(H24. 6. 26発生)

本船は、旅客66人を乗せ、沖縄県石垣市石垣港から竹富町波照間漁港に向けて航行中、仲間港南南西方沖において、前部客室前方にシートベルトを着用して着席していた旅客1人が、船首が波高約2.0mの波頂に乗って波間に落下した際、座席から体が浮いて臀部から座席に落下した衝撃で腰椎を圧迫骨折した。



[有限会社安栄観光から提出された完了報告] (H25. 3. 29勧告)

1 事故防止策

(1) 比較的船体動揺の小さい後方座席への旅客の誘導等

船内放送、巡視により旅客を後方座席へ案内する。

船体動揺が大きいことが予想される場合、前方座席(前3列)の使用を制限する。

(2) シートベルトの適切な着用等に係る旅客への情報提供及びシートベルトの適切な着用の確保

① 旅客への適切な情報提供

乗車券売場: 予想される船体動揺や運航の見通し情報を提供する。

気象、海象による船内での注意事項を掲示する。

シートベルトの適切な着用の重要性や着用方法等について説明する。

船内: 船内放送、巡視によりシートベルトの適切な着用について説明する。

座席背面へ「高速船乗船中の注意・ご協力依頼事項」を掲示する。

ホームページ: 注意事項(シートベルトの適切な着用)を記載する。

② 船内アナウンスの実施及び船内巡視によるシートベルトの適切な着用の確保

船内放送によるシートベルトの適切な着用について説明を行い、2~3回船内巡視を行う。

(3) 波浪に対する速力調整等

「荒天時安全運航マニュアル」に従い、船体動揺を軽減するための減速を行うとともに、波浪に対する見張りを励行する。

(4) 海象情報の共有

荒天時の目安となる波浪を認めた場合、本社船舶部へ携帯電話により連絡する。

(5) シートベルトの整備及び整頓

発航前検査簿にシートベルトの整備及び整頓の点検項目を追加する。

常に点検整備を実施してシートベルトを着用しやすいように座席上に配置する。

シートベルトを点検し、膠着しているものを締付け調整可能となるように改善する。

(6) クッションシートなどの衝撃吸収材設置

前方から3列までの座席へクッションシートを導入する。

2 荒天時安全運航マニュアル等に係る安全教育の実施

毎月の安全講習会と朝のミーティングで、安全管理規程及び荒天時安全運航マニュアルの遵守について、指導、教育を実施する。

3 コミュニケーションの改善等

(1) コミュニケーションの改善及びより安全な運航体制の構築

毎月1回「職場の改善委員会」を実施し、要望・指摘・問題点・課題等を話し合う。

トップダウンのみでなく現場の声を会社に提案し、双方で問題点などを改善する。

(2) 乗組員に負担の少ない運航ダイヤの設定

各航路のダイヤについて、着時間の記載を削除し、所要時間に変動がある旨を記載した。

今後、船舶運航日誌により実際の運航時間を調査し、運航ダイヤ作成時の資料とする。